

【現状説明】

《大学院》

共通	各研究科では主に、栄養科学研究科は医療機関、教育学研究科は、教育機関、公務員、流通科学研究科においては、小売業やサービス業に就職しています。
----	--

《大学》

栄養科学部	栄養科学科については、管理栄養士（栄養士含む）での就職者が 67.3%（7.6%増）増加しました。就職先の主な内訳は受託給食会社、食品関連企業、ドラッグストア等です。また、病院・医院への就職者が 26 名（前年度 21 名）となりました。その他、公務員合格者が 9 名おり、行政（管理栄養士）、栄養教諭、家庭科教諭などに就職しています。また、企業決定者でも、食産業への就職が多いのが特徴です。 フード・マネジメント学科については、約 8 割が食品を取り扱う企業へ就職決定しました。全国規模の企業から地元企業まで幅広く決定しました。学科設立から携わっていただいたコンソーシアム参画企業にも就職者を輩出しました。また、職種も総合職、営業、商品開発、製造、公務員（厚生労働省食品衛生監視員）など多岐にわたる分野への就職となっています。
教育学部	主に小学校教員や幼稚園教諭、保育士などの専門職としての就職を目指す本学部では、就職決定者のうち 89%が専門職の進路を選択しました。 教員採用試験では受験者 125 名中、実数で 95 名が現役合格を果たし、幼稚園教諭・保育士として 108 名が就職、うち公務員が 9 名となっています。
流通科学部	決定率は、98.7%と昨年から微増しました。卒業生に対する就職率は 90%となっています。職種別の内訳では総合職の割合が全体の 48.1%と最も高く、続いて営業職 20.4%、事務職 12.3%、販売職 6.8%の順でした。金融機関や卸小売業、メーカー、公務員など幅広い分野に就職しています。

《短期大学部》

食物栄養学科	就職希望者のうち、栄養士としての就職は約 83.0%となっております。栄養士のうち保育園の割合（45.7%）が高く、次いで受託給食の 30.4%となっています。その他、23 名が進学（4 年制大学への 3 年次編入）をし、管理栄養士免許取得を目指しています。
キャリア開発学科	決定率は 100%となり、卒業生から進学者を除いた就職率は 93.5%となっています。内訳では事務職 34.7%、総合職 27.0%、営業職 15.7%の順でした。就職先は例年通り大手企業や地元企業へ就職者も多数輩出しました。卒業生のうち、5 名が進学（4 年生大学への 3 年次編入）をしています。
幼児保育学科	就職決定率 11 年連続 100%と大変好調です。就職決定者のうち 97.9%が幼稚園教諭または保育士に就き、専門職就職率の高さが示されました。職種別割合は幼稚園教諭 52.9%、保育士 34.9%となっています。卒業生のうち 11 名が進学（4 年制大学に 3 年次編入）をしています。